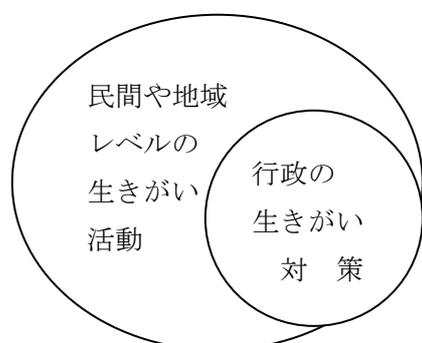


【生きがいについて】



1 行政の生きがい対策

<課題>

メニューは豊富にあるが知られていない。
場所が遠い
参加にくい雰囲気がある

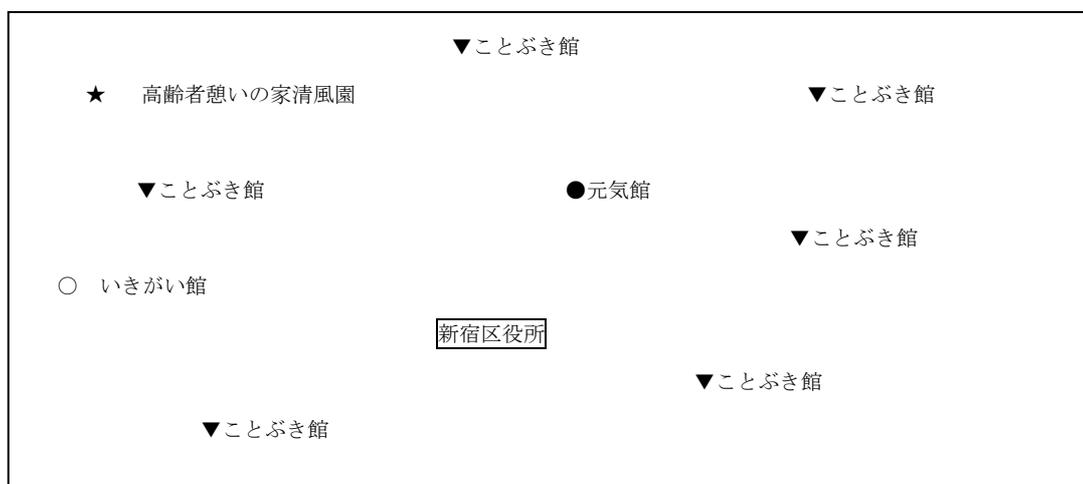
例

ことぶき館（区内20ヶ所程度：個人や団体で利用可能：誰でも気軽に寄れる）

いきがい館（区内1ヶ所：尿失禁・認知症予防等：ゆるやかな健康診断）

清風園（区内1ヶ所：入浴・転倒予防等）

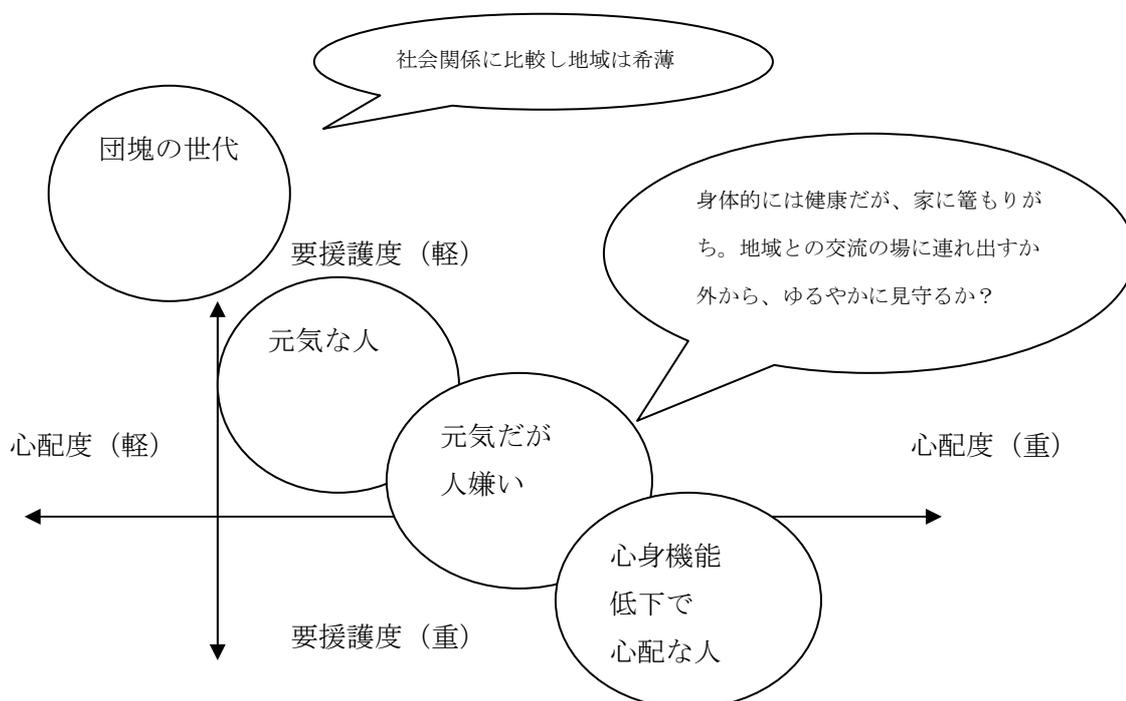
元気館（区内1ヶ所：本格的な筋力トレーニング）



<解決策案>

- ① わかりやすい情報の提供
(イラスト入りの簡単なパンフレットなど)
- ② 機能ごとに分かれる施設でなく、身近な地域で包括的なサービスを提供する。
(曜日や時間ごとにサービス内容やプログラムを多様化する)
- ③ 地域レベルで福祉課題を検討する場の設定
(地区協議会などの場を活用し、地域レベルで施設のあり方を検討する)

2 高齢者の類型



【生きがい対策】

団塊の世代・・・地域とのつながりを持てる機会の企画（イベント）
例：「第2の成人式～定年を祝う会」様々な活動の情報も提供する。

元気な人・・・人のお世話や仲間づくり（具体的な活動）
ボランティア活動や高齢者クラブなど具体的な活動を紹介する
例：「そのための広報紙を作ったり、定期的にお届けするグループ」

元気だが人嫌い・・・見守り・声かけ活動など（安否の確認）
ゆるやかな安否の確認から、信頼関係を築き交流を深める。

心配な人・・・一人ひとりの価値観を尊重しながら、安心した生活や
ちょっとした楽しみを感じることができる機会の確保
例：おしゃべりによる孤独感の解消、お化粧品や散髪などの
ファッション、文通や訪問活動、ユーモア、おいしいもの
（安堵の瞬間）